

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
北信越柔整専門学校	S53. 2. 6	碓井 貞成	〒920-0816 石川県金沢市山の上町5番5-2号 (電話)076-252-2171			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人木島学園	S55. 3. 31	碓井 貞成	〒920-0816 石川県金沢市山の上町5番5-2号 (電話)076-252-2171			
目 的	柔道整復師養成校の学生の進路は医療機関での運動器リハビリスタッフ、接骨院勤務や開業が多い。柔道整復師は開業権があり健康保険の取り扱いができるが骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷の5つに限られている。近年接骨院を受診する骨折・脱臼の患者は非常に少なくなった(整形外科を受診するため)。このため実習接骨院を受診する患者だけでは、十分な教育効果を得る事ができないため、医療機関との連携が必要と考えられる。将来の地域医療の底辺を支える担い手として、実業教育を行う職業実践専門課程としては接骨院での実習は必要不可欠のものである。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	柔整専門課程	昼間部柔整科	昼間部3年	昼間部 99単位	平成7年1月23日 文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	昼間部 83単位	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	昼間部 1単位	昼間部 15単位	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	100人	10人	32人	42人		
学期制度	■1学期：4月1日～8月31日 ■2学期：9月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無 ■成績評価の基準・方法について 各科目50点以上・平均点60点以上 をもって合格	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月21日～8月25日 ■冬 季：12月25日～翌年1月9日 ■学 年 末：3月22日			卒業・進級条件	・進級試験1回100点満点中60点以上 ・卒業試験2回230点満点中144点以上合格 ・3分の2以上の出席	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無 ■長期欠席者への指導等の対応			課外活動	■課外活動の種類 ・柔道部 ■サークル活動 (有)・無 ・接骨アスリートケア	

就職等の状況	<b>■主な就職先、業界等</b> 医療業界、病院・接骨院 <b>■就職率<sup>※1</sup> 100%</b> <b>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>100%</b> <b>■その他（任意）</b>  （平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の 情報）	主な資格・検定	・柔道整復師 ・介護職員初任者研修
中途退学の現状	<b>■中途退学者 7名 ■中退率 6.5%</b> 平成28年4月 1日在学者 107名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 100名（平成29年3月卒業生を含む） <b>■中途退学の主な理由</b> 成績不良・家庭の事情・金銭面での退学 <b>■中退防止のための取組</b> 成績不良：個別指導にて勉強方法の指導するも、授業について行けなく退学 金銭面での退学：リストラによる学費の納付できず		
ホームページ	URL: <a href="http://www.hokushinetsu.au.jp/">http://www.hokushinetsu.au.jp/</a>		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように情報交換を行い、教育課程の改善・改正を実施することを目的とする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月31日現在

名 前	所 属
碓井 貞成	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
渋谷 利之	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
今川 真昭	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
木山 時雨	公益社団法人 石川県柔道整復師会
高崎 光雄	高崎接骨院

### (開催日時)

第1回 平成29年4月8日 13:30～

第2回 平成30年3月10日 13:30～(予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業の持つ専門知識・技術・経験などを活用し、より実践的な教育効果を得るために行い、関連業界などの社会のニーズを捉え、卒前教育の基礎的な知識を得ることを目的とする。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	医療法人社団 成山会 山の上クリニック
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	木山接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	板橋接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	窪田接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	まるた接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	日光接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	西本接骨院

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

柔道整復師の養成に必要な知識を、より幅広く・社会環境にあった指導を行うため、教員に研修を実施・受講させ更なる知識・技術・技能の向上を目的とする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
碓井 貞成	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
嶋谷 清	公益社団法人 石川県柔道整復師会
金田 豊茂	公益社団法人 石川県柔道整復師会
浅岡 弘彦	公益社団法人 富山県柔道整復師会
岡本 透	石川県柔道整復師協同組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.hokushinetsu.au.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hokushinetsu.au.jp/>

授業科目等の概要

(柔道専門課程昼間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			心理学	柔道整復師において必要となる心理学の知識を習得する。	2	30	2	○		
○			法学	柔道整復師としての必要な法律を習得する。	2	60	4	○		
○			生物学	細胞の構造や機能及び生命体を構成する物質や反応系についてし知る。その上で生命が世代を越えてうけつがれていること、及び我々が自然界のサイクルの中で存在することをし知る。	1	30	2	○		
○			ドイツ語	ドイツ語の基礎的な運用能力を練習を通じて身に付ける。	1	30	2	○		
○			保健体育(柔道を含む)	柔道の礼節、寝技、立ち技など、柔道の基本を習得する。	1 ・ 2	120	4	○		
合計				基礎分野 科目	270 単位時間( 14 単位)					

授業科目等の概要

(柔道専門課程昼間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			解剖学	人体の正常な構造を学び、把握し、習得することを目的とする。	1	240	8	○		
○			生理学	人体の構造と機能の恒常性を保つために、人体はそれぞれ固有の働きをもつ多数の臓器から構成され、しかも全臓器の活動力は、神経系と内分泌による統合であることについて学ぶ。	1・2	120	4	○		
○			運動学	人体に関わる正常な運動に関与する一般的な概念や知識の理解を深める。具体的には、その基礎となる力学との関係、運動器の構造と機能、神経の構造と機能、運動感覚、反射と随意運動などについての知識も深める。更に最も身近な四肢と体幹の運動、姿勢、歩行(正常と一部異常歩行)及び運動発達、運動学習について学習する。	2	60	2	○		
○			病理学概論	柔道整復師において必要となる病理的知識を習得する。病理的の手法と臨床における病理学の役割を理解する。	1・2	60	2	○		
○			一般臨床医学	柔道整復師において必要となる臨床医学の知識を習得する。臨床医学における徴候、主な疾患の病態、症状を理解する。	2・3	120	4	○		
○			外科学概論	柔道整復師となって、医療類似行為に従事する本校卒業生は、その職務上医師及び看護師、衛生検査技師の職務上後見が必須であるとともに、治療対象患者の病訴を的確に把握しつつ、妥当な医療行為を行う必要がある。	1・3	120	4	○		
○			整形外科学	柔道整復師として、整形外科疾患について知るべき最低限の知識を習得する。運動器疾患に対処した際、適切な処理をできるように判断力をつける。	1・2	120	4	○		

○		衛生学・公衆衛生学	医学の発展はめざましいものがあり、病気を治す時代から病気を予防することが肝要となってきた。この観点から重要度を増やしている衛生学・公衆衛生学の基礎を習得する。	1・2	120	4	○		
○		リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の思想を理解し、ここの病態に対するリハビリテーションの考え方、方法論を習得する。	3	60	2	○		
○		関係法規	法の意義、法の体系、柔道整復師法の目的・定義、免許、柔道整復師試験、施術所、雑則、罰則。医療従事者の資格法、医療法、社会福祉関係法規、社会保険関係法規、その他(個人情報の保護に関する法律、日本国憲法(一部))	3	30	2	○		
○		医学史	我が国の医学の歴史と接骨院の誕生、接骨医の業績を知る。柔道(武道)と接骨術との関わりを歴史的経緯から捉える。	3	30	2	○		
○		柔道	柔道の必要な基本動作(礼法、姿勢、体捌き、組み方、受身)と対人運動の技能(投技、固技)の実技を通じて解説する。	1.2 .3 通	180	6	○		
合計			専門基礎分野 科目	1260 単位時間( 44 単位)					

授業科目等の概要

(柔道専門課程昼間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基礎柔道整復学・柔道整復理論(総論)	柔道整復師として必要となる柔道整復学の基本的知識を習得する。柔道整復学における骨折・脱臼・捻挫・打撲・の病態・症状を理解する。	1.2.3通	330	11	○		
○			臨床柔道整復学・柔道整復理論(各論)	日常診療で遭遇することの多い下肢の骨折、上肢の軟部組織損傷について病態から発生機序、治療法を学びます。	1.2.3通	420	14	○		
○			柔道整復実技	柔道整復師として必要な固定法の知識と技術を理解する。骨折・脱臼・捻挫・打撲における包帯固定法とギブス等の固定法を修得する。	1.2.3通	675	15			○
○			柔道整復実技(臨床実習)	医療機関の見学、画像診断機器(MRI、レントゲン)による運動器疾患の読影技術の習得、運動器リハビリテーション施設の見学とリハビリ機器の実習	3	45	1			○
		○	柔道整復実技(臨床実習)	接骨院における施術の見学	3	12				○
合計					専門分野	科目	1470 単位時間(41 単位)			



## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
北信越柔整専門学校	S 5 3 . 2 . 6	碓井 貞成	〒920-0816 石川県金沢市山の上町5番5-2号 (電話) 076-252-2171			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人木島学園	S 5 5 . 3 . 3 1	碓井 貞成	〒920-0816 石川県金沢市山の上町5番5-2号 (電話) 076-252-2171			
目 的	柔道整復師養成校の学生の進路は医療機関での運動器リハビリスタッフ、接骨院勤務や開業が多い。柔道整復師は開業権があり健康保険の取り扱いができるが骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷の5つに限られている。近年接骨院を受診する骨折・脱臼の患者は非常に少なくなった(整形外科を受診するため)。このため実習接骨院を受診する患者だけでは、十分な教育効果を得る事ができないため、医療機関との連携が必要と考えられる。将来の地域医療の底辺を支える担い手として、実業教育を行う職業実践専門課程としては接骨院での実習は必要不可欠のものである。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	柔整専門課程	夜間部柔整科	夜間部3年	夜間部 90単位	平成7年1月23日 文部省告示第7号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	夜間部74単位	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	夜間部1単位	夜間部15単位	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	7人	10人	5人	15人		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1学期：4月1日～8月31日</li> <li>■2学期：9月1日～12月31日</li> <li>■3学期：1月1日～3月31日</li> </ul>	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成績表 (有・無)</li> <li>■成績評価の基準・方法について 各科目50点以上・平均点60点以上をもって合格</li> </ul>			
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学年始め：4月8日</li> <li>■夏 季：7月21日～8月25日</li> <li>■冬 季：12月25日～翌年1月9日</li> <li>■学 年 末：3月21日</li> </ul>	卒業・進級条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級試験1回100点満点中60点以上</li> <li>・卒業試験2回230点満点中144点以上合格</li> <li>・3分の2以上の出席</li> </ul>			
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 (有・無)</li> <li>■長期欠席者への指導等の対応</li> </ul>	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課外活動の種類</li> <li>・柔道部</li> <li>■サークル活動 (有・無)</li> <li>・接骨アスリートケア</li> </ul>			

就職等の状況	<b>■主な就職先、業界等</b> 医療業界、病院・接骨院 <b>■就職率<sup>※1</sup> 100%</b> <b>■卒業者に占める就職者の割合<sup>※2</sup>100%</b> <b>■その他（任意）</b>  （平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報）	主な資格・検定	・柔道整復師 ・介護職員初任者研修
中途退学の現状	<b>■中途退学者 1名 ■中退率 5.5%</b> 平成28年4月 1日在学者 18名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 17名（平成29年3月卒業生を含む） <b>■中途退学の主な理由</b> 金銭面での退学 <b>■中退防止のための取組</b> 成績不良：個別指導にて勉強方法の指導するも、授業について行けなく退学 金銭面での退学：リストラによる学費の納付できず		
ホームページ	URL: <a href="http://www.hokushinetsu.au.jp/">http://www.hokushinetsu.au.jp/</a>		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように情報交換を行い、教育課程の改善・改正を実施することを目的とする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月31日現在

名前	所属
碓井 貞成	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
渋谷 利之	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
今川 真昭	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
木山 時雨	公益社団法人 石川県柔道整復師会
高崎 光雄	高崎接骨院

### (開催日時)

第1回 平成29年4月8日 13:45～

第2回 平成30年3月10日 13:45～ (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業の持つ専門知識・技術・経験などを活用し、より実践的な教育効果を得るために行い、関連業界などの社会のニーズを捉え、卒前教育の基礎的な知識を得ることを目的とする。

科目名	科目概要	連携企業等
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	医療法人社団 成山会 山の上クリニック
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	木山接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	板橋接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	窪田接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	まるた接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	日光接骨院
柔整実技 (臨床実習)	柔整実技見学実習	西本接骨院

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

柔道整復師の養成に必要な知識を、より幅広く・社会環境にあった指導を行うため、教員に研修を実施・受講させ更なる知識・技術・技能の向上を目的とする。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 29 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
碓井 貞成	学校法人 木島学園 北信越柔整専門学校
嶋谷 清	公益社団法人 石川県柔道整復師会
金田 豊茂	公益社団法人 石川県柔道整復師会
浅岡 弘彦	公益社団法人 富山県柔道整復師会
岡本 透	石川県柔道整復師協同組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.hokushinetsu.au.jp/>

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hokushinetsu.au.jp/>

授業科目等の概要

(柔道専門課程夜間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			心理学	柔道整復師において必要となる心理学の知識を習得する。	2	30	2	○		
○			法学	柔道整復師としての必要な法律を習得する。	2	60	4	○		
○			生物学	細胞の構造や機能及び生命体を構成する物質や反応系についてし知る。その上で生命が世代を越えてうけつがれていること、及び我々が自然界のサイクルの中で存在することを知る。	1	30	2	○		
○			ドイツ語	ドイツ語の基礎的な運用能力を練習を通じて身に付ける。	1	30	2	○		
○			保健体育(柔道を含む)	柔道の礼節、寝技、立ち技など、柔道の基本を習得する。	1・2	120	4	○		
合計				基礎分野 科目	270 単位時間( 14 単位)					

授業科目等の概要

(柔道専門課程夜間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			解剖学	人体の正常な構造を学び、把握し、習得することを目的とする。	1	240	8	○		
○			生理学	人体の構造と機能の恒常性を保つために、人体はそれぞれ固有の働きをもつ多数の臓器から構成され、しかも全臓器の活動力は、神経系と内分泌による統合によることについて学ぶ。	1・2	120	4	○		
○			運動学	人体に関わる正常な運動に関与する一般的な概念や知識の理解を深める。具体的には、その基礎となる力学との関係、運動器の構造と機能、神経の構造と機能、運動感覚、反射と随意運動などについての知識も深める。更に最も身近な四肢と体幹の運動、姿勢、歩行(正常と一部異常歩行)及び運動発達、運動学習について学習する。	2	60	2	○		
○			病理学概論	柔道整復師において必要となる病理的知識を習得する。病理的の手法と臨床における病理学の役割を理解する。	1・2	60	2	○		
○			一般臨床医学	柔道整復師において必要となる臨床医学の知識を習得する。臨床医学における徴候、主な疾患の病態、症状を理解する。	2・3	60	2	○		
○			外科学概論	柔道整復師となって、医療類似行為に従事する本校卒業生は、その職務上医師及び看護師、衛生検査技師の職務上後見が必須であるとともに、治療対象患者の病訴を的確に把握しつつ、妥当な医療行為を行う必要がある。	1・2	90	3	○		
○			整形外科学	柔道整復師として、整形外科疾患について知るべき最低限の知識を習得する。運動器疾患に対処した際、適切な処理をできるように判断力をつける。	1・2	120	4	○		

○		衛生学・公衆衛生学	医学の発展はめざましいものがあり、病気を治す時代から病気を予防することが肝要となってきている。この観点から重要度を増やしている衛生学・公衆衛生学の基礎を習得する。	1・2	120	4	○		
○		リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の思想を理解し、ここの病態に対するリハビリテーションの考え方、方法論を習得する。	3	30	1	○		
○		関係法規	法の意義、法の体系、柔道整復師法の目的・定義、免許、柔道整復師試験、施術所、雑則、罰則。医療従事者の資格法、医療法、社会福祉関係法規、社会保険関係法規、その他(個人情報の保護に関する法律、日本国憲法(一部))	3	30	2	○		
○		医学史	我が国の医学の歴史と接骨院の誕生、接骨医の業績を知る。柔道(武道)と接骨術との関わりを歴史的経緯から捉える。	3	30	2	○		
○		柔道	柔道の必要な基本動作(礼法、姿勢、体捌き、組み方、受身)と対人運動の技能(投技、固技)の実技を通じて解説する。	1. 2. 3 通	90	3	○		
合計			専門基礎分野 科目	1050 単位時間( 37 単位)					

授業科目等の概要

(柔道専門課程夜間部柔整科) 平成 29 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基礎柔道整復学・柔道整復理論(総論)	柔道整復師として必要となる柔道整復学の基本的知識を習得する。柔道整復学における骨折・脱臼・捻挫・打撲・の病態・症状を理解する。	1. 2. 3 通	270	9	○		
○			臨床柔道整復学・柔道整復理論(各論)	日常診療で遭遇することの多い下肢の骨折、上肢の軟部組織損傷について病態から発生機序、治療法を学びます。	1. 2. 3 通	420	14	○		
○			柔道整復実技	柔道整復師として必要な固定法の知識と技術を理解する。骨折・脱臼・捻挫・打撲における包帯固定法とギブス等の固定法を修得する。	1. 2. 3 通	675	15			○
○			柔道整復実技(臨床実習)	医療機関の見学、画像診断機器(MRI、レントゲン)による運動器疾患の読影技術の習得、運動器リハビリテーション施設の見学とリハビリ機器の実習	3	45	1			○
		○	柔道整復実技(臨床実習)	接骨院における施術の見学	3	12				○
合計			専門分野 科目		1410 単位時間( 39 単位)					